



雨が降ってきて、ぼくは港で雨にうたれてる、夕立がきたんだ。



出かけてく客船や、荷物を積んで帰ってきた貨物船を見てる。傘もあるけど ぼくは  
びしょぬれ、夏のシャワーは気持ちいいだろ？



イメージしてみる、ぼくはカサを持ってるけど、カサをもっていないってね。そして、



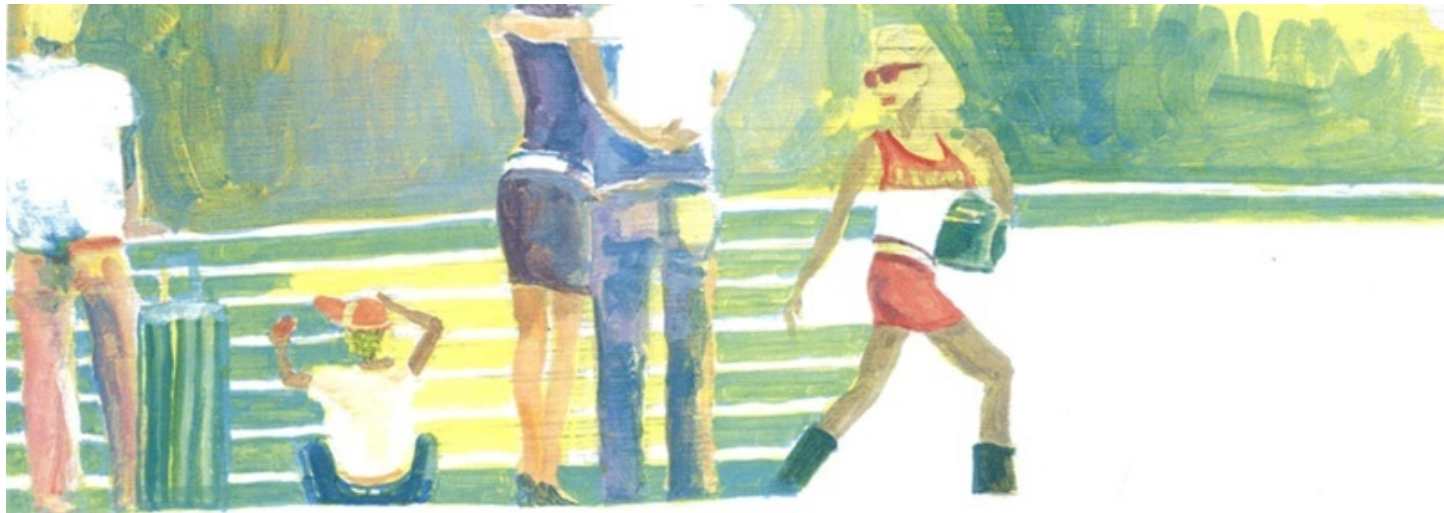
ぼくはここから世界中のどこへだって行けるんだってね



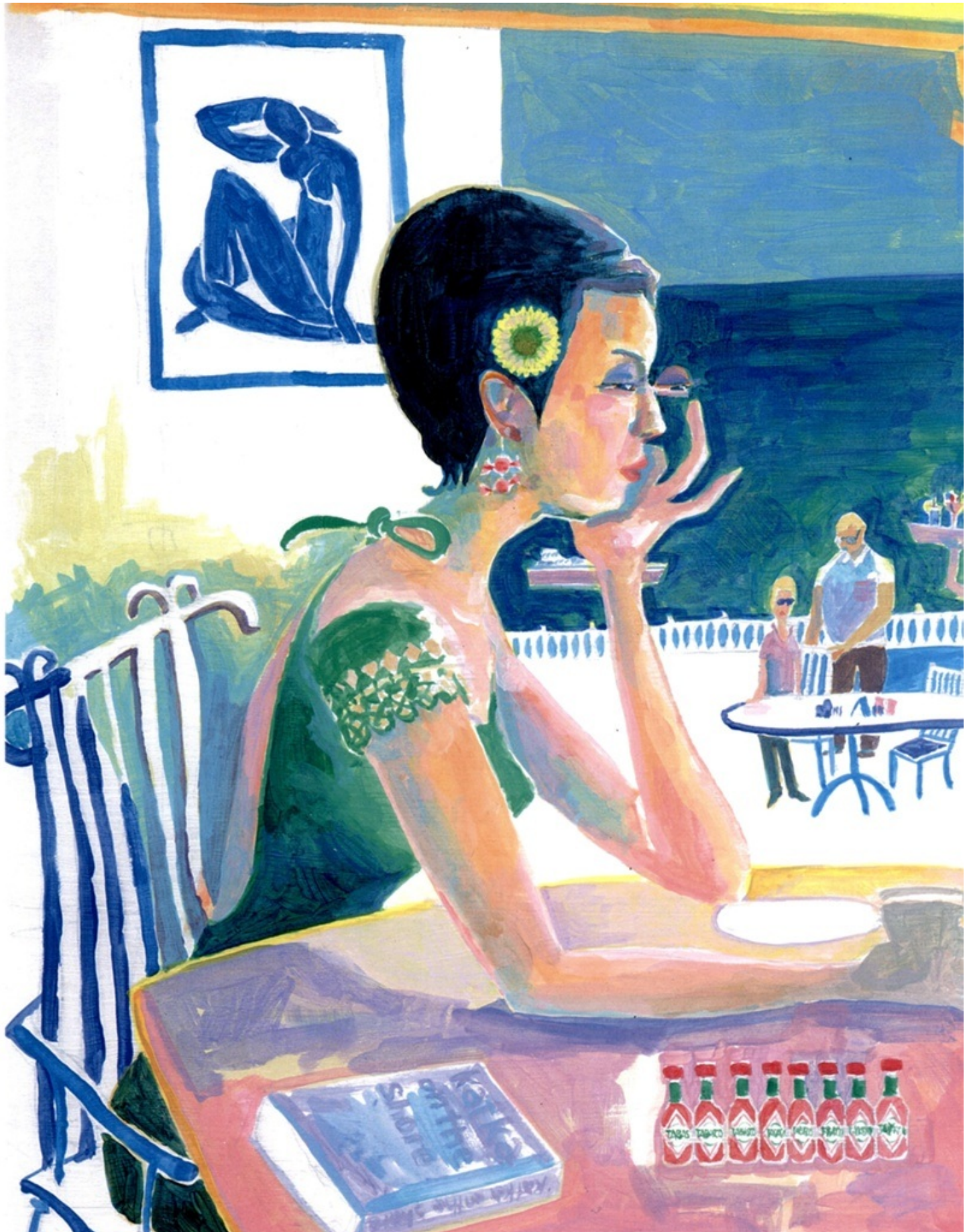
ニューヨークに行こう、イチローの応援をするんじゃないぜ、



「あのゲームは良かったね」ってあとでイチローが言うようなファインプレーをきめるんだ。



それからドイツで法律の勉強をしよう。





そうそう、先に言っとくけど、いくら愛する君が帰ってきてほしいって言ったって、途中では帰れないぜ。



イタリアでオペラを観て



朝、リオのカーニバルで目を覚まし、



ケープタウンでランチタイム



レイキャビクで夜の明るいうちに君に手紙を書こう。



次の日か、その次の日の次の日か、もし



インダス川の濁流の中で君に出会ったら たぶん 君とぼくとは、おたがい話したい  
ことが山ほどある。ぼくはカサを持っているけど・・・



ん？





あっ、海兵隊だ、かっこいい！



突然、港に軍艦があらわれて、ぼくはすぐに飛び乗った。



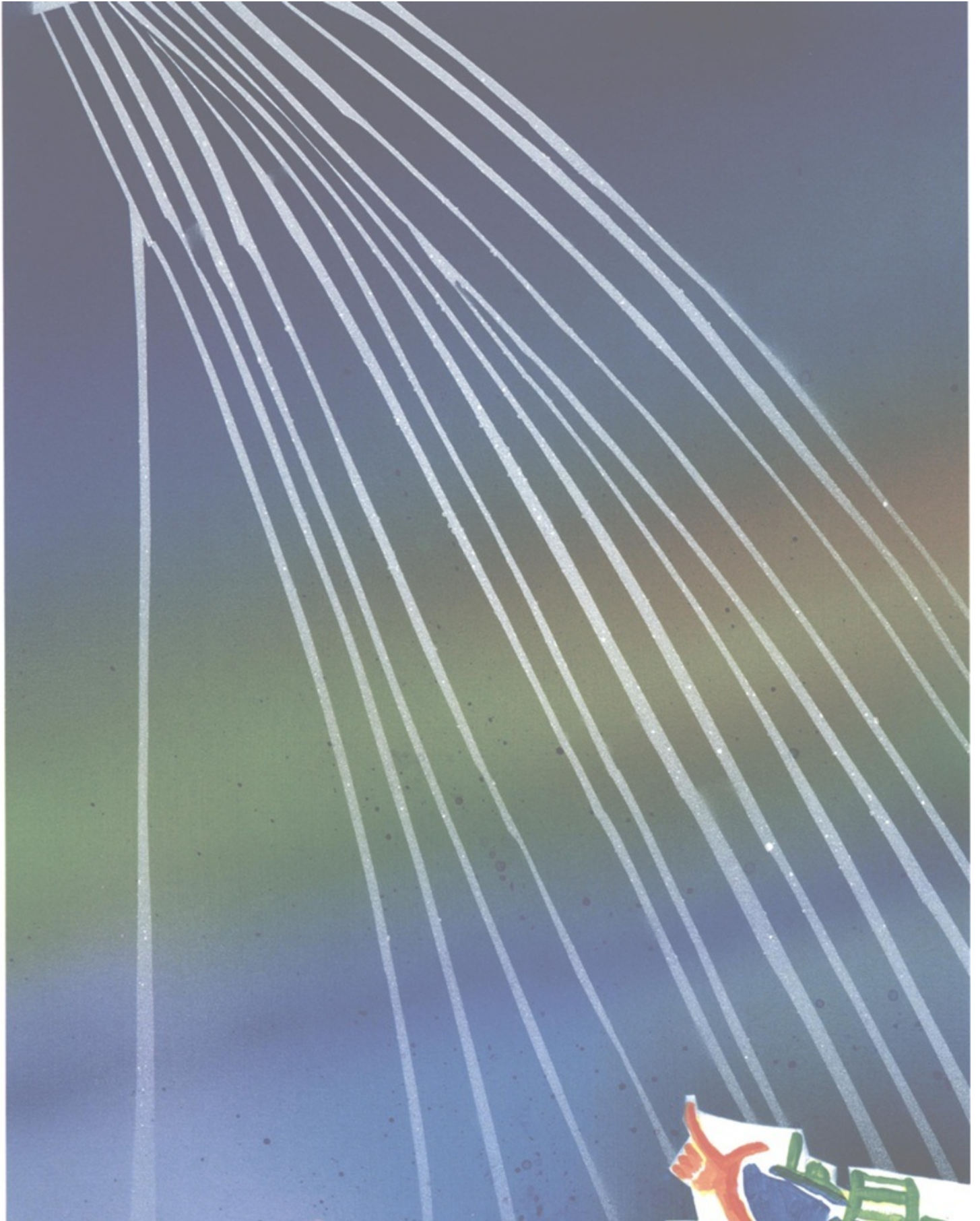
誰かが「出撃！」とさけび、空が急に暗くなり、バンバンバン！ 鉄砲をうつ声でした。



バンバンバン！ぼくは帰りたくなってきた。ピンポン！ん？これはきっと誰かがミサイル発射のボタンを押した音だ！



ピンポ〜ン「は〜い いらっしゃい！」



「シャワーの出しっぱなしはダメだって何回言えばわかるのよ！！」



「ゆうちゃんが来たわよ、夏休みの宿題教えてもらう約束してたのなら早く あがってらっしゃい！」



ママはノックもしないでドアを開けるんだぜ、まったく！





オレはシャワーをとめる。雨はあがった、さあ出航だ。



## 港の夕立

<http://p.booklog.jp/book/54069>

著者：コヘジ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/koheji/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/54069>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/54069>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ